

平成29年度の主な取り組みについて

1. 認知症支援、介護予防ボランティアの養成について

認知症になっても支え合って安心して暮らせるまちづくりを実現するため、認知症サポーターや認知症パートナーを養成する。また、地域主体の介護予防を促進するため元気アップフレンズを養成する。

- ①認知症サポーター：認知症を正しく理解し、偏見を持たずに認知症やその家族をあたたく見守り支援する人
- ②認知症パートナー：認知症カフェや介護施設などで認知症の人の声を聴くボランティア
- ③元気アップフレンズ：地域主体の体操の集いをサポートするボランティア

2. 高齢者生活支援体制整備事業

地域における高齢者の生活支援体制を整備し、地域包括ケアシステム構築の促進を目的とする。

- ①生活支援コーディネーターの配置
社会資源マップ構築による可視化
地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけ
生活支援の担い手の養成やサービスの開発
ニーズとサービスのマッチング
- ②協議体の設置
情報交換・働きかけの場、地域の課題についての問題提起等

3. 「市町 diary」の今後の展望について

子どもから高齢者まで利用できる「ふれあい」「世代間交流」「生きがい」などの居場所づくりとなる住民主体型の事業展開を支援する。

- ①「ごはんや day」
食事作りや会食を通じて世代間交流や地域連携を強化
- ②「げんきや day」
認知症予防や介護予防を目的とした健康体操を開催
- ③その他
地域で活動している団体と協働で様々な事業を展開
夏休みの学習の場、子どもの居場所、支援者の集い、子育て支援
発達障害児の親の交流 など
- ④研修事業
新たな福祉の担い手の育成の場として研修会を開催
介護技術講習会、介護職員初任者研修課程 など